

# 線形変換としての対角化の意味・直交変換

樋口さぶろお <https://hig3.net>

龍谷大学工学部数理情報学科

線形代数 L06(2019-05-14)

最終更新: Time-stamp: "2019-05-14 Tue 10:45 JST hig"

## 今日の目標

- 高橋線形 §3.3 行列の対角化を線形変換としてみて説明できる
- 高橋線形 §3.4 対称行列を直交行列で対角化できる



## L05-Q1

Quiz 解答:行列の対角化 別に計算した結果から,  $\lambda_1 = -2$  の固有ベクトル  $\boldsymbol{x}_1 = \begin{bmatrix} 1 \\ 4 \end{bmatrix}$ ,  $\lambda_2 = 1$  の固有ベクトル  $\boldsymbol{x}_2 = \begin{bmatrix} 1 \\ 1 \end{bmatrix}$ .

よって,

$$\begin{bmatrix} 1 & 1 \\ 4 & 1 \end{bmatrix}^{-1} \begin{bmatrix} 2 & -1 \\ 4 & -3 \end{bmatrix} \begin{bmatrix} 1 & 1 \\ 4 & 1 \end{bmatrix} = \begin{bmatrix} -2 & 0 \\ 0 & 1 \end{bmatrix}.$$

## L05-Q2

Quiz 解答:行列の対角化

$$\begin{bmatrix} 1 & 5 \\ 1 & -4 \end{bmatrix}^{-1} \begin{bmatrix} 1 & 5 \\ 4 & 2 \end{bmatrix} \begin{bmatrix} 1 & 5 \\ 1 & -4 \end{bmatrix} = \begin{bmatrix} 6 & 0 \\ 0 & -3 \end{bmatrix}.$$

両辺の左から  $\begin{bmatrix} 1 & 5 \\ 4 & 2 \end{bmatrix}$ , 右から  $\begin{bmatrix} 1 & 5 \\ 4 & 2 \end{bmatrix}^{-1}$  をかけて,

$$\begin{bmatrix} 1 & 5 \\ 4 & 2 \end{bmatrix} = \begin{bmatrix} 1 & 5 \\ 1 & -4 \end{bmatrix} \begin{bmatrix} 6 & 0 \\ 0 & -3 \end{bmatrix} \cdot \begin{bmatrix} 1 & 5 \\ 1 & -4 \end{bmatrix}^{-1}.$$

よって,  $\Lambda = \begin{bmatrix} 6 & 0 \\ 0 & -3 \end{bmatrix}$ ,  $P = \begin{bmatrix} 1 & 5 \\ 1 & -4 \end{bmatrix}^{-1} = -\frac{1}{9} \begin{bmatrix} -4 & -5 \\ 1 & 1 \end{bmatrix}$ .

L05-Q3

Quiz 解答: 行列のべき乗

$$\begin{bmatrix} 2 & -1 \\ 4 & -3 \end{bmatrix}^n = \begin{bmatrix} 1 & 1 \\ 4 & 1 \end{bmatrix} \begin{bmatrix} (-2)^n & 0 \\ 0 & 1^n \end{bmatrix} \begin{bmatrix} 1 & 1 \\ 4 & 1 \end{bmatrix}^{-1} = \frac{1}{3} \begin{bmatrix} 4 - (-2)^n & -1 + (-2)^n \\ 4 - 4(-2)^n & -1 + 4(-2)^n \end{bmatrix}.$$

L05-Q4

Quiz 解答: 行列の負のべき乗

$A^{-1} = (P\Lambda P^{-1})^{-1} = (P^{-1})^{-1}\Lambda^{-1}P^{-1}$  より,

$$\begin{bmatrix} 2 & -1 \\ 4 & -3 \end{bmatrix} = \begin{bmatrix} 1 & 1 \\ 4 & 1 \end{bmatrix} \begin{bmatrix} (-2)^{-n} & 0 \\ 0 & 1^{-n} \end{bmatrix} \begin{bmatrix} 1 & 1 \\ 4 & 1 \end{bmatrix}^{-1} = \frac{1}{3} \begin{bmatrix} 4 - (-2)^{-n} & -1 + (-2)^{-n} \\ 4 - 4(-2)^{-n} & -1 + 4(-2)^{-n} \end{bmatrix}.$$

L05-Q5

## Quiz 解答: 行列のべき乗による漸化式の解

$$\begin{bmatrix} x_n \\ y_n \end{bmatrix} = \frac{1}{3} \begin{bmatrix} 4 - (-2)^n & -1 + (-2)^n \\ 4 - 4(-2)^n & -1 + 4(-2)^n \end{bmatrix} \begin{bmatrix} 1 \\ -2 \end{bmatrix} = \begin{bmatrix} 2 - (-2)^n \\ 2 - 4(-2)^n \end{bmatrix}.$$

## L05-Q6

Quiz 解答: 行列のべき乗による漸化式の解  $P^{-1}\mathbf{x}_n = \begin{bmatrix} x_n - y_n \\ 4x_n - y_n \end{bmatrix}$  より,

$a_n = x_n - y_n$ ,  $b_n = 4x_n - y_n$  と定義する. 連立漸化式を加減すると  
 $a_{n+1} = -2a_n$ ,  $b_{n+1} = b_n$  と, 2つの等比数列に分離される. 以下略.

## ここまで来たよ

- 5 略解: 2 次の正方行列の対角化
  
- 6 線形変換としての対角化の意味・直交変換
  - 行列の対角化の線形変換としての意味
  - 対称行列の直交行列による対角化

## 行列の対角化の線形変換としての意味 I

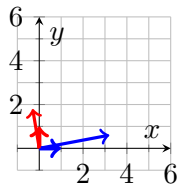
略記  $e_1 = \begin{bmatrix} 1 \\ 0 \end{bmatrix}$ ,  $e_2 = \begin{bmatrix} 0 \\ 1 \end{bmatrix}$ .

$A = \begin{bmatrix} \frac{16}{5} & -\frac{2}{5} \\ \frac{3}{5} & \frac{9}{5} \end{bmatrix}$ , 固有値  $\lambda_1 = 3, \lambda_2 = 2$ , 固有ベクトル  $x_1 = \begin{bmatrix} 2 \\ 1 \end{bmatrix}$ ,  $x_2 = \begin{bmatrix} 1 \\ 3 \end{bmatrix}$ .

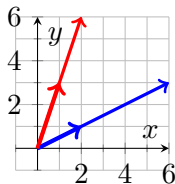
$A$  の表す変換

$$A = \begin{bmatrix} \frac{16}{5} & -\frac{2}{5} \\ \frac{3}{5} & \frac{9}{5} \end{bmatrix}$$

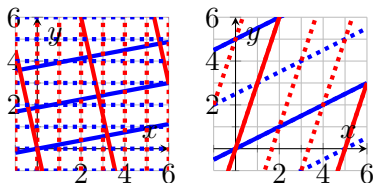
$Ae_i$



$Ax_i$



太い矢印が、同じ色の細い矢印に写される。



点線が、同じ色の実線に写される.

線形変換は、2つのベクトルの写る先で決まる

$$A(a\mathbf{e}_1 + b\mathbf{e}_2) = aA\mathbf{e}_1 + bA\mathbf{e}_2, \quad A(a\mathbf{x}_1 + b\mathbf{x}_2) = aA\mathbf{x}_1 + bA\mathbf{x}_2$$

なので、 $A\mathbf{e}_1, A\mathbf{e}_2$  または  $A\mathbf{x}_1, A\mathbf{x}_2$  がわかれば平面全体の行き先がわかる.

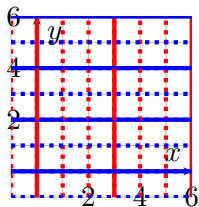
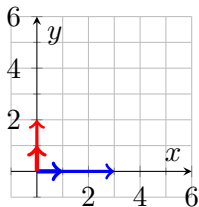
$$P^{-1}AP = \Lambda$$

$$\begin{bmatrix} 2 & 1 \\ 1 & 3 \end{bmatrix}^{-1} \begin{bmatrix} \frac{16}{5} & -\frac{2}{5} \\ \frac{3}{5} & \frac{9}{5} \end{bmatrix} \begin{bmatrix} 2 & 1 \\ 1 & 3 \end{bmatrix} = \begin{bmatrix} 3 & 0 \\ 0 & 2 \end{bmatrix}$$

対角行列  $\Lambda$  の表す変換

$$\Lambda = \begin{bmatrix} 3 & 0 \\ 0 & 2 \end{bmatrix}$$

$$\Lambda \mathbf{e}_1 = 2\mathbf{e}_1, \Lambda \mathbf{e}_2 = 3\mathbf{e}_2$$

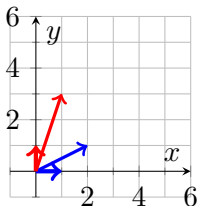




固有ベクトルを並べた正則行列  $P$  の表す変換

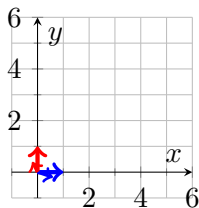
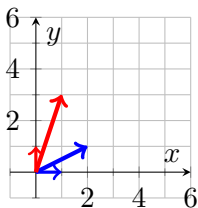
$$P = [\mathbf{x}_1 \quad \mathbf{x}_2] = \begin{bmatrix} 2 & 1 \\ 1 & 3 \end{bmatrix}$$

$$P\mathbf{e}_1 = \mathbf{x}_1, P\mathbf{e}_2 = \mathbf{x}_2$$

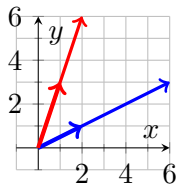
固有ベクトルを並べた正則行列  $P$  の逆行列  $P^{-1}$  の表す変換

$$P^{-1} = \begin{bmatrix} 2 & 1 \\ 1 & 3 \end{bmatrix}^{-1} = \begin{bmatrix} \frac{2}{5} & -\frac{3}{5} \\ -\frac{1}{5} & \frac{4}{5} \end{bmatrix}$$

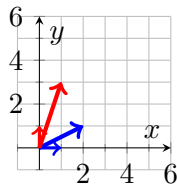
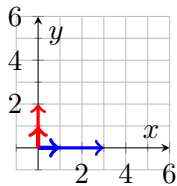
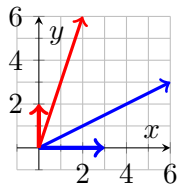
$$P^{-1}\mathbf{x}_1 = \mathbf{e}_1, P^{-1}\mathbf{x}_2 = \mathbf{e}_2$$



$$A = P\Lambda P^{-1}$$



=



## ここまで来たよ

- 5 略解: 2 次の正方行列の対角化
  
- 6 線形変換としての対角化の意味・直交変換
  - 行列の対角化の線形変換としての意味
  - 対称行列の直交行列による対角化

## 実対称行列

### 実対称行列の定義 高橋線形 §3.5(p.62)

$n$  次正方行列  $A$  が実対称行列であるとは、成分がすべて実で、次が成立すること.

$${}^t A = A$$

例

### 2 次の実対称行列の性質 高橋線形定理 3.7,3.8(p.62,63)

- 2 次実対称行列の固有値は実数.
- 2 次実対称行列には、互いに直交する 2 個の実の固有ベクトルがある.

高橋線形問題 3.21

## L06-Q1

## Quiz(実対称行列の直交行列による対角化)

行列

$$A = \begin{bmatrix} \frac{23}{5} & \frac{36}{5} \\ \frac{36}{5} & \frac{2}{5} \end{bmatrix}$$

の固有値固有ベクトルを求めよう.

## 直交行列

### 直交行列の定義 高橋線形 §3.5(p.63)

$n$  次正方行列  $P$  が直交行列であるとは、成分がすべて実で、次が成立すること。

$${}^t P P = E$$

### 2 次の直交行列の性質 高橋線形定理 3.9

- $P$  が直交行列であるとき、 $P^{-1} = {}^t P$ .
- $P, Q$  が直交行列であるとき、積  $PQ$  も直交行列.

## 2 次の直交行列の性質 高橋線形定理 3.9

2 つの 2 次元列ベクトルを並べた 2 次正方行列  $P = [\mathbf{x}_1 \quad \mathbf{x}_2]$  について、次の 3 つは同じこと (必要十分条件)。

- ①  $P$  は直交行列。
- ②  $\mathbf{x}_1, \mathbf{x}_2$  は、互いに直交する単位ベクトル、
- ③

$$(\mathbf{x}_1, \mathbf{x}_2) = \delta_{ij}$$

つまり、

$$(\mathbf{x}_1, \mathbf{x}_1) = (\mathbf{x}_2, \mathbf{x}_2) = 1, \quad (\mathbf{x}_1, \mathbf{x}_2) = 0$$

なぜなら、

$${}^t P P = E$$

$$\begin{bmatrix} {}^t \mathbf{x}_1 \\ {}^t \mathbf{x}_2 \end{bmatrix} [\mathbf{x}_1 \quad \mathbf{x}_2] = \begin{bmatrix} 1 & 0 \\ 0 & 1 \end{bmatrix}$$

$$\begin{bmatrix} {}^t \mathbf{x}_1 \mathbf{x}_1 & {}^t \mathbf{x}_1 \mathbf{x}_2 \\ {}^t \mathbf{x}_2 \mathbf{x}_1 & {}^t \mathbf{x}_2 \mathbf{x}_2 \end{bmatrix} = \begin{bmatrix} (\mathbf{x}_1, \mathbf{x}_1) & (\mathbf{x}_1, \mathbf{x}_2) \\ (\mathbf{x}_2, \mathbf{x}_1) & (\mathbf{x}_2, \mathbf{x}_2) \end{bmatrix} = \begin{bmatrix} 1 & 0 \\ 0 & 1 \end{bmatrix}$$

## ベクトルの正規化 (規格化)

長さが 1 のベクトルを単位ベクトルという。

ベクトル  $\boldsymbol{x}$  に対して、平行な単位ベクトル  $\boldsymbol{x}'$  を求めることを規格化, 正規化といい,  $\boldsymbol{x}'$  を規格化, 正規化されたベクトルという。

$\boldsymbol{x}' = \pm \frac{\boldsymbol{x}}{|\boldsymbol{x}|}$  の 2 通り。

L06-Q2

## Quiz(ベクトルの規格化)

ベクトル

$$\boldsymbol{x} = \begin{bmatrix} -3 \\ -4 \end{bmatrix}$$

と同じ大きさで平行なベクトルをひとつ求めよう (規格化しよう)。



## 2次直交行列の表す線形変換 高橋線形なし

2次直交行列の表す線形変換は、内積を変えない。したがって、長さや角度を変えない。

$$(P\mathbf{x}, P\mathbf{y}) = {}^t(P\mathbf{x})P\mathbf{y} = {}^t\mathbf{x}{}^tPP\mathbf{y} = {}^t\mathbf{x}E\mathbf{y} = (\mathbf{x}, \mathbf{y})$$

例: 回転, 対称, 回転と対称の組合せ. 合同な図形との重ね合わせ.

2次直交行列は、平面を拡大縮小したりひずませたりせずに、回転したり裏返したりして写す。

## 2 次の直交行列の性質 高橋線形定理 3.9

2 次実対称行列  $A$  は、直交行列  $P$  で、

$${}^t P A P = \Lambda$$

と対角化できる.

L06-Q3

## Quiz(対称行列の直交行列による対角化)

実対称行列

$$A = \begin{bmatrix} \frac{23}{5} & \frac{36}{5} \\ \frac{36}{5} & \frac{3}{5} \end{bmatrix}$$

を、直交行列で対角化しよう.

$P$  を調整して直交行列にしてね, という意味.

高橋線形問題 3.24

高橋線形演習問題 3.9

# Wolfram|Alpha

Webで Wolfram Alpha で検索か

<https://www.wolframalpha.com>



モバイルアプリ (有料だけど安い)

<https://products.wolframalpha.com/mobile>



## Wolfram|Alpha での行列の計算

<https://www.wolframalpha.com/examples/Matrices.html>

行列  $\begin{bmatrix} 1 & 2 \\ 3 & 4 \end{bmatrix}$  `{{1,2},{3,4}}`

逆行列  $\begin{bmatrix} 1 & 2 \\ 3 & 4 \end{bmatrix}^{-1}$  `{{1,2},{3,4}}^(-1)`

行列の積はピリオド  $\begin{bmatrix} 1 & 2 \\ 3 & 4 \end{bmatrix} \begin{bmatrix} 5 & 6 \\ 7 & 8 \end{bmatrix}$  `{{1,2},{3,4}} . {{5,6},{7,8}}`

$\begin{bmatrix} 1 & 2 \\ 3 & 4 \end{bmatrix}$  の固有値固有ベクトル `Eigensystem[{{1,2},{3,4}}]`

$\begin{bmatrix} 1 & 2 \\ 3 & 4 \end{bmatrix}$  の対角化 (直交行列によるとは限らない)

`Diagonalize[{{1,2},{3,4}}]`

### Wolfram Mathematica

- もっと高機能でほぼ同文法な, PC で動作する数式処理ソフトウェア
- 実習室で使用可能

ルール: Trial, テストでは持込なし. レポート, 予習復習問題の解答, 検算には自由に使っていい. けど, 過程の記述として, 「Wolfram—Alpha によ

## 連絡

線形代数 LINE@



サポート

<https://line.me/R/ti/p/@arl7841z>

Learn Math Moodle

<https://learn.math.ryukoku.ac.jp/>

- 樋口オフィスアワー 火 5(1-507, 1-542)
- 学科チューター (個人・グループで勉強+上級生の相談) 水昼, 1-342
- 初年次学習支援センター 火水 12:45-15:45, 生協コンビニ地下
  
- 2019-05-23 金 19:00 までに, 1-507 前の箱に行列のべき乗のレポート提出 問題は <https://learn.math.ryukoku.ac.jp/> から PC で印刷

- 2019-05-21 火全学休講
- 2019-05-28 火テスト 1 たぶん実習室 1-542
  - ▶ テスト 1 とテスト 2(7月)の最低点が科目の成績 100 ピーナッツ中 70 ピーナッツ.
  - ▶ 計算機実習室 1-542. Web 解答+一部の解答手書き解答の予定.
  - ▶ 説明や準備を除いた答案作成部分 45 分
  - ▶ お奨めの準備方法. 1) これまでの Trial を最短距離でできるようにしておく (Web の問題・解答も再度確認できます). 2) 予習復習問題を最短距離でできるようにしておく. 3) 配布資料で言及されている教科書の問題を解く.
  - ▶ 出題計画
    - ★ 行列・ベクトルの積の計算. 定義されないときの判定 (Trial L03)
    - ★ 回転行列, 線形変換の逆や合成 (Trial L04)
    - ★ 2 次正方行列の固有値固有ベクトルの計算 (Trial L05)
    - ★ 2 次正方行列の対角化 (Trial L05, Report L05)
    - ★ 2 次実対称行列の直交行列による対角化 (予習復習問題だけ)